

研究テーマ	生活や社会との関わりを深める技術・家庭科教育
生活や社会との関わりを深める手立て	ロールプレイングを通して、コミュニケーションには「非主張的」「攻撃的」「主張的（アサーティブ）」の3つがあることを理解し、家族関係をよりよくするための方法を具体的に考え、生活の中で実践しようとする気持ちをもたせる。

第3学年1組 技術・家庭科（家庭分野）学習指導案

指導者 ○○ ○○

1 題材名 わたしたちと家族、地域

2 題材の目標

- 家庭や家族関係、地域の人々との関わりに関心をもって学習活動に取り組み、自分自身の生活に生かそうとする。（生活や技術への関心・意欲・態度）
- ロールプレイングなどを通して、家族の一員として、家族関係をよりよくする方法を考え課題を見付け出し、その解決を目指してよりよくする方法を考え工夫している。（生活を工夫し創造する能力）
- 家庭や家族の基本的な機能、家庭生活と地域の人々との関わりに関する知識を身に付けることができる。（生活や技術についての知識・理解）

3 題材について

(1) 題材観

近年、家族は、社会の変化に伴いめぐるしい早さで変容している。核家族化、少子化が進んだだけでなく、離婚率の増加等により、家族の構成や範囲、価値観も多様化している。しかし、これらのことが変わってきて、個々の家族で大切にしていきたい機能や役割、よりよい家庭生活を送るために考えなければならないこと等、変わらないことや大切にしていきたいこともある。中学生の時期においては、学校生活や部活動の他に塾や稽古ごと等による時間的制約が多いことや、思春期にある生徒達は、家族との関わりや関係が希薄になりがちであったり、時に煩わしく感じてしまったりすることがある。また、地域の人々との関わりについても関心が低くなったり、きっかけがないと距離を置いてしまったりするなど、その大切さを頭では理解していても、行動に移すことがなかなかできていないように感じられる。また、科学技術の進歩、サービス産業の台頭などの社会の変化は、家族や地域の人々とあえて関わらなくても生活が成り立ってしまう等、人と人とのつながりが一層希薄にしており、便利さや手軽さだけを享受していると、家族関係だけでなく地域のつながりなどもなくなってしまうような危険性ははらんでいる。

そこで、本題材では、友達同士でロールプレイングを行ったり、家族や地域の人々にインタビューをしたりする中でコミュニケーションスキルを向上させたりすることにより、よりよい家族関係を築くためにはどのようにすればよいのか考えたり、地域の人々の思いや地域への関わり、行事などについてより詳しく知ることにより、自分も地域の一員であるという自覚をもったりすることができるようにしたい。

(2) 生徒の実態

家族に関するアンケート（男子6名 女子10名 計16名）

① 家で親とよく話をするか？	よくする 14名、時々する 1名、あまりしない 2名
② 話のきっかけを作るのは？	自分から 3名、親から 2名、同じくらい 12名
③ どのようなことが話題となっているか？	学校でのこと 9名、その日あったこと 3名、勉強のこと 2名、その他（塾、犬、TV、ゲーム、友達、洋服、雑誌、つり） 各1名
④ 家族の中で一番はなしをするのは？（複数回答）	親15名、きょうだい12名、その他（猫1名、犬2名）
⑤ 家族関係がうまくいっているときは？	話が盛り上がったとき 6名、家族が笑顔でいるとき 3名、家族で食事をしているとき 3名、家族が疲れていないとき、猫が着て和むとき、何事もなかったとき 各1名
⑥ 家族関係がうまくいっていないときは？	親に怒られたりきょうだいのけんかの後 9名、会話が少なくて弾まないとき 7名、いろいろなことがばれたとき、家族がほかの誰かを悪く言うときが 各1名

第3学年1組は、男子12名、女子22名、合計34名である。本校では、少人数での授業、実習を可能にするため、技術と家庭科で前期・後期に生徒を分けており、現在は、男子6名、女子11名、合計17名の生徒が家庭科を学習している。発表したりすることには控えめな生徒が目立つが、もの作りが好きで、家庭科に興味をもち、明るく意欲的に学習に取り組む生徒が多い。

事前調査の結果、本生徒は、中学3年生としては家で家族とよく話していることが見て取れる。話のきっかけも、生徒自身・親の双方から作っており、学校のことをはじめ勉強のこと、その他ペットのことや共通の趣味について等、様々な内容について話せているのは、よい傾向であると思われる。ただ、家族関係がうまくいっていないときの様子を尋ねると、親に怒られた後やきょうだい喧嘩の後などに、コミュニケーションがうまくいってしまっていることが多いということが分かった。そこで、自分の思いや意志をきちんと伝えるためには、感情的に一方向的に伝えるのではなく、自分の思いを大切にしながらも、相手のことも大切に思い伝えられるようになる経験を積むことが、本生徒達には必要であると考える。

(3) 指導観

本題材の指導に当たっては、家庭の中ではよく話をしているが、学校では、大人しく穏やかな性格の生徒や言葉で自分の意志をきちんと伝えることが上手くはない生徒が多いという実態を踏まえ、まずは、ロールプレイの活動をもとに家族関係について考えられるようにしていきたい。その際、コミュニケーションには「非主張的」「攻撃的」「主張的（アサーティブ）」の3つがあることを理解させ、主張的な視点を養い、

コミュニケーションスキルとして、獲得していけるようにしたい。そして、その活動の中から、家族関係をよりよくするための方法を具体的に考えていけるようにしたい。また、地域の活動や行事等については、家族や地域の人々に直接インタビューし、まとめたり発表したりする活動を通して、生徒それぞれが、地域に住む人々の思いや願いを知ったり行事などへの関わりについてこれまで以上に知ったりすることにより、自分も地域の一員であることの自覚を高めていけるようにしたい。

4 学習計画（5時間扱い）

次 時	学習内容	関・意・態	工・創	技能	知・理
1	よりよい家族関係を考えよう				
	家庭や家族の機能を考えよう	○			
	家族関係をよりよくする方法を考えよう				○
2	ロールプレイングを通して、家族関係をよりよくする方法を見付け出そう（本時）		◎		
	家庭と地域の関係を考えよう	◎			○

5 本時の学習

(1) 目標

ロールプレイングを通して、家族関係をよりよくする方法について考え、工夫している。

(2) 準備・資料 ・説明カード ・ワークシート ・評価カード ・掲示物 ・アンケート結果

(3) 展開（・留意点 ◎生活や社会との関わりを深める手立て   評価）

学習内容及び活動	指導上の留意点と評価
<p>1 本時の学習内容を知る。</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 5px;">ロールプレイングを通して、家族関係をよりよくする方法を見付け出そう。</p> <p>2 活動内容について確認する。</p> <p>(1) 各自、アサーション度（相手も大事にしながら私を伝えられているか）をチェックし、自分のコミュニケーションのとり方の傾向を判定する。</p> <p>(2) 3つのコミュニケーションのとり方についての説明を聞く。</p> <p>「受け身的（非主張的）」 「攻撃的な言い方（攻撃的）」 「私を伝えられる言い方（主張的）」</p> <p>(3) グループに分かれ、シナリオの続きをロールプレイングで行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・シナリオの続きを考え、演じる。</li> <li>・非主張的、攻撃的、主張的な展開をそれぞれに考える。</li> </ul> <p>【シナリオ①】勉強も終わり、楽しみにしていたTV番組を見ようとしていたところを、兄弟（姉妹）が番組を変えようと言ってきた。 【シナリオ②】自分で勉強を始めようと思っていたときに、親から「早く勉強をしなさい」と言われて・・・ 【シナリオ③】お働きの両親のもと、休日だらだらと過ごしていると、朝食の片付けをしている母を見た祖母が部屋の掃除をするように言ってきた・・・ 【シナリオ④】中学生の娘が、約束の時間に帰宅せず、親は心配しながら待っていた。帰ってきた娘に対して親は・・・</p> <p>(4) グループ毎に発表する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・グループ毎に役割を決め、みんなの前でロールプレイングを行う。</li> <li>・感想をインタビューする。</li> </ul> <p>3 振り返りをし、家族関係をよくするためにはどうしたらよいか考え、本時のまとめをする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事前のアンケートを示し、生徒の家族関係の実態を踏まえた上で、本時の学習内容を確認する。</li> <li>・どのような話し方をするかが、家族関係をよくすることにつながっていくのかと意識付けをし、本時の課題に取り組めるようにする。</li> <li>◎自己判定をもとに、自分のコミュニケーションのとり方は、どのような傾向があるのかを知り、本時の活動に興味をもって取り組めるような意識付けができるようにする。</li> <li>・3つのコミュニケーションについて、それぞれの特徴を例に示しながら説明をする。その際、どのような話し方や態度が3つの中のどのコミュニケーションのとり方になるのか、ポイントを押さえる。</li> <li>・グループのメンバーはくじ引きで決め、4箇所に分かれて活動できるよう指示する。</li> <li>・4人の中で、A、B、C、Dをそれぞれ決め、その中の2人が演技者、残り2人が観客となり、交代しながら活動していくようあらかじめ指示しておく。</li> <li>・ロールプレイングを行う際の留意点と、「非主張的」「攻撃的」「主張的」それぞれのシナリオを考え演じていくことを確認しておく。</li> <li>・思いついたセリフや態度は、ワークシートにメモしておき、ロールプレイングを行うときに、生かせるように指示する。</li> <li>・それぞれのコミュニケーションの展開について迷っているグループがあれば、具体的な言葉や態度がイメージできるように説明や助言をする。</li> <li>◎発表者には、どのコミュニケーションのとり方を演じているのか分かるようカードを使用させ、聞く側は自分の生活の場面と照合したり、家族の一員としての役割を考えたりするように指示する。</li> </ul> <p style="border: 1px solid black; padding: 5px;">ロールプレイングを通してコミュニケーションを図るための3つの方法を体験し、家族関係をよりよくする方法について考え、自分の考えをまとめることができる。（工夫・創造：観察、ワークシート、発言）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ロールプレイングを通して、気付いたことや家族関係をよくするためのきっかけをつかめたか、生徒の発言を生かして本時のまとめができるようにする。</li> <li>・主張的表現を、普段の生活の中でも意識的に取り入れ、実践していけるよう呼びかける。</li> </ul>

研究テーマ	生活や社会との関わりを深める技術・家庭科教育
生活や社会との関わりを深める手立て	小集団によるコミュニケーションを通して、家庭の仕事と役割分担、家庭の働きを考え、生活の中で実践しようとする気持ちをもたせる。

2 学年 4 組 技術・家庭科（家庭分野）学習指導案

指導者 ○○ ○○

1 題材名 私たちの成長と家族・地域

2 題材の目標

- 幼児について関心をもち、自分の成長と家族や家庭生活との関わりについて意欲的に学習に取り組もうとする。  
(生活や技能への関心・意欲・態度)
- 幼児の遊びと心身の発達や環境としての家族の役割を考えていく中で課題を見付け、その解決を目指して工夫することができる。  
(生活を工夫し創造する能力)
- 幼児が育つ環境としての家族の役割について調べてまとめたり、心身の発達段階に適した遊び道具を製作したりすることができる。  
(生活の技能)
- 幼児についての学習を通して、幼児の発達と家族の基本的な機能や重要性を理解することができる。  
(生活や技術についての知識・理解)

3 題材について

(1) 題材観

この題材のねらいは、「幼児の観察や遊び道具の製作などの実践的・体験的な学習を通して幼児に関心をもたせ、子どもが育つ環境としての家庭や家族の人間関係について考えることにより、家庭や家族の基本的な機能や重要性を理解させる」ことである。家庭分野「B家族と家庭生活」の必修内容(1)(2)(3)の履修では、自分のこれまでの成長を振り返ることによって、中学生の時期の自分と家族や家庭生活との関わりについて考えていく。そして、幼児期が人間形成の基礎をつくる大切な時期であることと、遊びを通して成長発達していることを理解し、幼児の心身の発達の特徴と発達を支える家族の役割について考えを深めていく。さらに、家庭や家族の基本的な機能について理解のもと、家族関係をよりよくしようとする方法を具体的に考えていく。

(2) 生徒の実態

家族に関するアンケート (男子 18 名 女子 18 名 計 36 名)

問 1	あなたは家でどのような手伝いをしていますか。(複数回答) お風呂洗い…13名 食事の準備…11名 掃除…8名 洗濯物をたたむ…5名 お皿洗い … 3名 洗濯物を干す…2名 ごみ捨て…2名 していない…2名 他
問 2	あなたにとって家族はどのような存在ですか。 親…頼れる・大切・自分を見守ってくれる・面倒をみてくれる・尊敬できる・ごはんを作ってくれる・大事な・うるさいけど育ててくれる 他 きょうだい…何でも相談できる、いるとうるさいがいなくてつまらない、遊び相手、とても頼れる存在、わからない所を教えてくれる、おもしろい 他 祖父母…いろいろなことを教えてもらえる・優しい・何でも知っている・大切・大事・お小遣いをくれる・まじめに話をきいてくれる 他

家で手伝いをしている生徒がほとんどで、全くしていない生徒は2人であった。手伝いの内容はさまざま、お風呂洗いや食事の準備が多く、少数意見ではアイロンがけや妹の面倒をみる、畑の手伝いなどもあった。また、それぞれの家族の存在では、大切に大事な存在と感じている生徒が多いことが分かった。

(3) 指導観

生徒の学習への興味・関心を高めるために、実践的・体験的な学習を多く取り入れ、一人一人が「もっと知りたい」という気持ちをもつよう支援する。さらにその思いを伸ばしていくために、新聞記事を用いることで、学校以外の場所でも問題意識をもち、幼児をめぐる社会環境に敏感になると考える。また、家族に関する学習で、自分と家族の関わり方について考えることにより、思いやりの心をもつ生徒の育成を目指していく。そのために小集団での活動を多く設定し、自分と他の生徒との意見の比較を通して、お互いの共通点、相違点などを認識できるように授業を展開していきたい。

4 学習計画 (10 時間扱い)

次	時	学習内容	関・意・態	工・創	技能	知・理
1	1	幼いころってどんなだったろう	◎			
2	2～4	幼児の生活と遊びを知ろう			○	◎
3	5～7	幼児の心身の発達の特徴を知ろう	○		○	○
4	8	子どもにとっての家族を考えよう	○	○		
5	9・10 (本時)	中学生にとっての家族を考えよう		◎		○

5 本時の指導

(1) 目標

家庭の仕事と役割分担について考え、家庭や家族の基本的な働きについて理解することができる。

(2) 準備・資料

・ワークシート ・掲示用資料 ・班活動用資料

(3) 展開 (・留意点 ◎生活や社会との関わりを深める手立て   評価)

学習内容・活動	指導上の留意点・評価
1 本時の学習課題を知る。 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">家庭や家族の役割とその働きについて考えよう。</span>	・既習の学習内容を振り返ってから、本時の学習課題を確認し、学習意欲をもたせる。(既習の学習内容：「幼児の成長には家族や地域の人々との関わりが大切である」)
2 家庭の基本的な働きを確認する。 ・やすらぐ ・安全 ・安心 ・生活する	・挙手により確認することにより、他生徒の学習への取組を確認でき、ともに学習する喜びを感じることができる。 ・つぶやきも大切に、生徒の学習に対する意欲を高めていく。
3 モデル家族の一家で、家庭の仕事と役割分担、家庭の働きを考える。 (1) 家庭にある仕事を考え、発表する。 (2) 小集団で考える。 ① おじいさん・おばあさん・お父さん・お母さん・お姉さん・モデル家族の役を班で決める。 ② 示された仕事分担について、それぞれの役が意見を言い、その意見から分担を変更していく。 ③ それぞれにとって、家庭がどのような存在かを考える。	・モデル家族を例に挙げることで、生徒の学習に対する意欲を高めていく。 ・小集団によるコミュニケーションを通して、実りある話し合いができるように一つ一つの作業について説明をしながら活動を支援する。 ◎家族の中で仕事の役割分担が多い「お母さん」に注目させるために、仕事が多いことに気付かせ、理由や改善策を考えさせる。さらに日本や世界の傾向を資料として提示し、社会の傾向や制度に目を向けさせる。 ・話し合いが停滞している小集団に入り、話し合いに参加する。
(3) 各班で発表・説明をし、全体で各班の意見を共有する。	<span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">家庭の仕事と役割分担について考えることができる。 (工・創：観察、発表、ワークシート)</span>
4 本時のまとめをし、次時の課題を知る。 (1) 本時の振り返りを記入する。 (2) 次時の学習について知る。	◎家族のために働くことができるということは、生活にどのような影響があるか考えさせ、家族のために働くことで家庭は気持ちのよい楽しい場所になるということに気付かせる。 ・他の小集団との相違点を認識しながら他の考えも尊重することができるよう、発表内容をまとめていく。 ・次時への意欲付けを図ると同時に、生徒の取組に対して称賛の言葉をかける。
	<span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">家庭や家族の基本的な働きについて理解することができる。 (知・理：観察、ワークシート)</span>

研究テーマ	生活や社会との関わりを深める技術・家庭科教育
生活や社会との関わりを深める手立て	子どもを育てる環境を考えるために、ダイヤモンドランキングを行う。ダイヤモンドランキングの言葉は、半分教師の意図的な言葉を用意し、半分は、自分達で考えさせることで、さらに考えを深めさせる。「学び合い」を通して言語活動の充実を図ることで、幼児にふさわしい生活を整える家族の役割について理解させる。

第3学年1組 技術・家庭科（家庭分野）学習指導案  
指導者 ○○ ○○

1 題材名 幼児の生活と家族

2 題材の目標

- 幼児の生活と家族について関心をもって学習活動に取り組み、家族又は幼児の生活をよりよくするために実践しようとしている。（生活や技術への関心・意欲・態度）
- 幼児の生活と家族について課題を見付け、その解決を目指して自分なりに工夫し創造しようとしている。（生活を工夫し創造する能力）
- 幼児の生活と家族に関する基礎的・基本的な技術を身に付けようとしている。（生活の技能）
- 幼児の生活と家族について理解し、基礎的・基本的な知識を身に付けようとしている。（生活や技術についての知識・理解）

3 題材について

(1) 題材観

本題材は、学習指導要領の内容「A 家族・家庭の子どもの成長(3) 幼児の生活と家族「ア」 幼児の発達と生活の特徴、家族の役割」に当たる。ここでは、幼児の心身の発達の特徴とそれを支える生活について知るとともに、幼児期における周囲の人との基本的な信頼関係や生活習慣の形成の重要性について考えることを通して、幼児にふさわしい生活を整える家族の役割について理解することをねらいとしている。

(2) 生徒の実態 幼児の生活と家族に関するアンケート（男子13名 女子13名 計26名）

① 家族に幼児はいるか。	いる…0名	いない…26名
② 親せきや近所に接する機会がある幼児がいるか。	よく接する幼児がいる…6名	ときどき接する幼児がいる…4名
	たまに接する幼児がいる…3名	いない…13名
③ 幼児と接することは好きか。	好き…23名	好きではない…3名

1組の生徒の中で、家族の中に幼児がいる家庭はなく、親戚や近所でも幼児と接する機会がほとんどない。また、自分の幼少期について忘れていることが多い。しかし、幼児と接することが好きな生徒は多く、幼児と接する時間をもちたいという思いは強い。

(3) 指導観

幼児と接する機会が少ないため、VTRや写真などの視聴覚教材を用いたり、自分の幼少期を家族に聞いたりすることで、関心を高めていき、家族の関わりの大さを実感させたい。また、ロールプレイングを取り入れながら、話し合い活動を活発にし、具体的に考えさせたい。そして、学習したことを保育実習で実践していきたい。

4 学習計画（13.5時間扱い）

次	時	学習内容	関・意・態	工・創	技能	知・理
1	1	幼い頃を振り返ろう	◎			
2	2～4	幼児の心身の発達と生活				◎

		(本時は第4時)				
3	5～10.5	幼児の生活と遊び	○	○	◎	○
4	11.5・12.5	幼児と触れ合おう	○	◎	○	
5	13.5	子どもにとっての家族		○		

5 本時の学習

(1) 目標

子どもを育てる環境としての家族の役割を理解している。

(2) 準備・資料

- ・子どもにとって大切なものカード
- ・ダイヤモンドランキング表
- ・ワークシート
- ・マジック

(3) 展開（・留意点 ◎生活や社会との関わりを深める手立て   評価）

学習内容及び活動	指導上の留意点と評価
<p>1 幼児に関わるニュースを取上げ、本時課題に迫る。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">                     子どもにとって大切なことは何か、考えよう。                 </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 幼児虐待</li> <li>・ 子育て支援センター</li> <li>・ 子育て</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 幼児虐待や少子化、待機児童など幼児に関する時事を取り上げ、幼児を取り巻く環境で問題とされていることを意識する。</li> </ul>
<p>2 子どもが育つ環境について考える。</p> <p>(1) 子どもを守る条約や法律</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 児童憲章</li> <li>・ 児童の権利に関する条約</li> <li>・ 児童福祉法</li> </ul> <p>(2) 子育ての場</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 幼稚園</li> <li>・ 保育所</li> <li>・ 子育て支援センター</li> <li>・ 母親向けのサークル など</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 子どもが育つ環境について、子どもを守る手段の一つである法に触れ、守られながら育っていることに気付くようにする。</li> <li>◎ 子育ての場として、家庭以外にも幼稚園や保育園があることに気付くように、幼児触れ合い体験に触れる。また、子育てをサポートする機関や団体などがあることにも気づき、それらを利用する効果や改善点などについて考えさせる。</li> </ul>
<p>3 子どもにとって大切なことを考えよう。</p> <p>(1) 子どもにとって大切なことを9つ考える。</p> <p>(2) 隣同士でダイヤモンドランキングを決める。</p> <p>(3) 学習班で話し合い、それぞれの考えをきく。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 子どもにとって大切なことを9つ考えるときに教師側で5つの言葉を用意し、考えやすいようにする。</li> <li>・ 考えを深められるように、2人組、4人組と話し合いの人数を増やしていく。</li> <li>・ 自分の考えをまとめることが困難な生徒には、級友の考えを参考にするように助言する。</li> <li>・ 話し合いの中でその順番にした理由を話せるように支援する。</li> </ul>
<p>4 本時の学習をまとめる</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ワークシートにまとめる</li> <li>・ 自己評価カードに記入</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 発表することで、具体的な役割に気付くようにする。</li> <li>・ 自己評価を行い、本時の活動を振り返る。</li> </ul>

子どもを育てる環境としての家族の役割を理解することができる。  
(知識・理解：ワークシート)

研究テーマ	生活や社会との関わりを深める技術・家庭科教育
生活や社会との関わりを深める手だて	課題提示の工夫と話し合いによる学び合い

第3学年7組 技術・家庭科（家庭分野）学習指導案

指導者 ○○ ○○

1 題材名 幼児の生活と家族

2 題材の目標

- 幼児の生活と家族について関心をもち、幼児の生活をよりよくしようとする。  
(生活や技術への関心・意欲・態度)
- 幼児の生活と家族について課題を見付け、その解決を目指して工夫することができる。  
(生活を工夫し創造する能力)
- 幼児の生活と家族に関する基礎的・基本的な技術を身に付けることができる。  
(生活の技能)
- 幼児の生活と家族について理解し、基礎的・基本的な知識を身に付けることができる。  
(生活や技術についての知識・理解)

3 題材について

(1) 題材観

本題材は、「A 家族・家庭と子どもの成長」の(3)「幼児の生活と家族」である。ここでは、遊び道具の製作や幼児と触れ合う活動などの実践的・体験的な学習活動を通して、幼児に関心をもち、幼児の心身の発達と生活、それを支える家族の役割や遊びの意義について理解し、幼児との関わり方を工夫できるようにすることをねらいとしている。

(2) 幼児の生活と家族に関する実態調査（男子 19 名、女子 18 名、計 37 名）

① 家族や身近なところに幼児がいて、接する機会があるか。	
・ある。 … 7名	
・ときどきある。 … 9名	
・ない。または、あまりない。 … 18名	
② 幼児は、服の脱ぎ着をどのようにして身に付けていくと思うか。	
・年齢が上がると自然にできるようになる。 … 2名	
・家族や周りの人のやり方を見てできるようになる。 … 10名	
・家族や周りの人に教えてもらってできるようになる。 … 17名	
・わからない。 … 5名	
③ 幼児が、自分のこと（食事やトイレ、歯磨きなど）を自分でできるようになるために、周りの人がやらなければならないことは何か。（複数回答）	
・環境整備 … 18名	・言葉かけ … 20名
・特に何もしなくてよい。 … 4名	・見本となるようなきちんとした生活 … 28名
・失敗しても自分でやらせること … 12名	・わからない。 … 2名

アンケートの結果より、半数の生徒は、日頃幼児と接する機会がほとんどない。基本的な生活習慣の習得については、周りの人々の働きかけが必要であること気付いている生徒が多い。授業を通し、具体的な関わり方を理解させていきたい。

(3) 指導観

生活や社会との関わりを深め、学習したことを生きて働く力にするためには、問題解決的な学習を繰り返す行い、問題解決能力を育てることが大切である。問題解決能力とは、思考力、判断力、表現力等の能力である。本題材第1次第4時では、「親だったらどう対応するか」「家族からの相談にどう答えるか」という形で課題を提示し、既習の知識をもとに、自分の考えをまとめたり、班で話し合ったりして学び合ったりする活動を行う。課題を解決していく過程で、思考力、判断力、表現力等を高めながら、生活習慣の習得についての基礎的な知識を定着させていきたい。課題となる場面は、書籍（明橋大二著「子育てハッピーアドバイス」）のイラストを利用したり、ラジオ番組の育児相談をもとに作ったりして意欲的に取り組めるようにする。これらの活動を通して、生活や社会との関わりを深めていきたい。

4 指導と評価の計画（13時間取り扱い）

次	時	学習内容	関・意・態	工・創	技能	知・理
1	1～4	幼児の心身の発達と生活を知らう（本時は第4時）	○			◎

2	5～7	幼児の生活と遊びを知らう		○	○	○
3	8～12	幼児の心身の発達の特徴を知らう	○	○	◎	○
4	13	子どもにとっての家族を考えよう		◎		

5 本時の指導

(1) 目標

生活習慣の形成には周りの人々の適切な援助が必要であることが分かる。

(2) 準備・資料

・用語カード ・事例（板書用） ・ワークシート

(3) 展開（留意点 ◎生活や社会との関わりを深める手立て   評価）

学習内容及び活動	指導上の留意点と評価
<p>1 本時の学習課題をつかむ。</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 5px;">生活習慣の習得を助ける言葉の掛け方や接し方を考えよう。</p> <p>2 事例を挙げ、それぞれの場面での言葉の掛け方や接し方を考え、班で話し合う。</p> <p>(1) 事例Ⅰのイラストを見て、言葉の掛け方や接し方を考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・少しだけ手伝わってもらう。</li> <li>・簡単なものをたたんでもらう。</li> <li>・よくできたら褒める。</li> <li>・たたみかたを教える。</li> <li>・大人の都合ばかりを考えない。</li> <li>・難しいのでやらせない。</li> </ul> <p>(2) 各班の考えを発表し合い、考えを深める。</p> <p>(3) 事例Ⅱの家族からの相談文を読み、その回答を考え、班で話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・早く起きて準備させる。</li> <li>・子どもと一緒に前の晩に準備しておく。</li> <li>・母親以外の家族にも手伝わってもらう。</li> <li>・できることを少しずつやらせて、だんだんやることを増やしていく。</li> <li>・親がある程度準備して子どもには少しやらせる。</li> <li>・遅刻しても子どもにやらせる。</li> </ul> <p>(4) 各班の考えを発表し合い、多様な考えを知る。</p> <p>3 生活習慣の習得を助ける接し方についてまとめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・興味をもったときには、やらせる。</li> <li>・励ましてくりかえし練習させる。</li> <li>・やる気をもたせる言葉掛けが大切。</li> <li>・上手にできたら褒める。</li> <li>・自分でできた達成感を味わわせる。</li> <li>・周りの人々の適切な援助が必要。</li> <li>・子どものペースを大切に。</li> </ul> <p>4 次時の学習課題を確認する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基本的な生活習慣や社会的な生活習慣の習得が自立の基礎となることを確認する。</li> <li>・生活習慣の習得には、環境整備や言葉掛けが必要であることをおさえ、本時の課題をつかませる。</li> <li>◎洗濯物を母親と一緒にたたみたいという幼児のイラストを提示し、生活習慣を習得して、自立した生活ができるようになるための家族の接し方を考えさせる。</li> <li>・どのように接したらよいか自分の考えをワークシートにまとめさせ、自分の考えを表現しやすいよう、小グループで話し合わせる。</li> <li>・話し合いが効率よくできるよう、司会者や発表者を決めて進めるよう助言する。</li> <li>・話し合いを通し、練習の場を与えることの大切さややる気を損なわない言葉掛けや接し方について学び合わせる。</li> <li>◎登園の準備を自分でやりたがる時間がかかって困っている家族からの相談文を読み、回答者の立場になって考えさせる。</li> <li>・自立させるためには、どのような対応が大切かという視点で考えるよう助言する。</li> <li>・司会者や発表者を班の中でローテーションさせ、多くの生徒が体験できるよう配慮する。</li> <li>・話し合いを通し、家族の適切な関わり方について学び合わせる。</li> </ul> <p>・話し合いを振り返らせ、周りの人々の適切な関わり方についてまとめる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>生活習慣の形成を支える家族の役割について理解できる。</p> <p style="text-align: right;">（知・理：ワークシート、観察）</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ワークシートに自分の言葉でまとめさせる。</li> </ul> <p>・幼児の1日の生活について、学習することを伝える。</p>